

2

環境影響評価書

日本セメント株式会社西多摩工場 採石事業の拡張

昭和58年5月

日本セメント株式会社

1.1 事業者の氏名及び住所

氏名：日本セメント株式会社 代表者 代表取締役社長 北岡 徹

住所：東京都千代田区大手町1の6の1 電話(03)201-1731 (代)

1.2 対象事業の名称

日本セメント株式会社西多摩工場 採石事業の拡張

(土石の採取)

1.3 対象事業の内容の概略

この事業は土石の採取であり、その計画の概要は表1-1のとおりである。

表1-1 採石事業計画の概要

事業の規模	総採取岩量	1,146万t
	年当り採取岩量	60万t
	採取期間	19.9年
	事業拡張区域	488,935m ²
	採掘区域	148,197m ²
	残留緑地 (含保全部)	350,660m ²

1.4 環境に及ぼす影響の評価の結論

地域の概況と事業の内容を考慮して選定した予測・評価項目について現況を調査し、対象事業の実施が及ぼす影響について予測・評価した。その結論は表1-2のとおりである。

表1-2 環境に及ぼす影響の評価の結論

予測・評価項目	評価の結論
1. 大気汚染	採掘作業に伴って周辺地域に達する浮遊粒子状物質の濃度は、環境基準値以下であり、影響は少ないと考えられる。
2. 水質汚濁	降雨時の汚濁水は、凝集沈殿処理して放流するので平井川の水質を悪化させる恐れはないと考えられる。
3. 騒音	採掘作業等に伴う騒音は、おおむね同種地域に適用される環境基準等の基準値以下であり、影響は少ないと考えられる。
4. 振動	採掘作業等に伴う振動は、振動規制法及び東京都公害防止条例の振動に係る勧告基準の基準値以下であり、影響は少ないと考えられる。
5. 陸上植物	全国的な貴重種に該当するものはなく、また自然度の高い植物群落については保存されるので、貴重種や自然植生への影響は少ないと考えられる。採掘区域の植物の減少については、緑化対策を行うことによって影響は軽微なものになると考えられる。
6. 陸上動物	事業実施中は、移動性の低い動物を中心に個体数は減少し、復元期においても動物相は変化するものと予想されるが、貴重種の消滅の問題はなく、また、自然の回復に努めることにより影響は軽微なものになると考えられる。
7. 水生生物	平井川の水質を変化させることはないため、ゲンジボタル等の貴重種をはじめ平井川の水生生物の生息環境は維持されるものと考えられる。
8. 地形・地質	地形・地質の変化が景観及び自然環境に与える影響は、環境保全対策により軽微なものになると考えられる。
9. 景観	生活空間からの景観変化は一部の地域に限られ、影響の度合も緑化対策により最小限に抑えられており、著しい変化はないと考えられる。

1.5 評価書案の修正の概略

評価書案の修正の概略は、表1-3のとおりである。

表1-3 修正の概略

修正箇所	修正事項	修正内容及び修正理由
1. 総括	事業者の氏名、対象事業の内容及び評価の結論	代表者の更迭、算出方法の変更及び評価の変更のため修正した。
2. 対象事業の目的及び内容	事業開始の時期及び事業の規模	計画及び算出方法の変更のため修正した。
3. 地域の概況	振動の概況	振動レベル計の測定保障範囲を明記した。
5. 現況調査	振動、陸上植物、陸上動物、水生生物、地形・地質、景観の状況等	振動、陸上植物、陸上動物、水生生物、地形・地質、景観の状況の現況調査の結果等を追加した。
6. 予測	大気汚染、水質汚濁、陸上植物、陸上動物の予測事項、予測方法、予測結果等	大気汚染の予測方法、予測結果の変更及び水質汚濁、陸上植物、陸上動物の予測事項、予測結果等を追加した。
7. 評価	大気汚染、水質汚濁、陸上植物、陸上動物、地形・地質の評価	予測方法の変更及び予測事項、予測結果の追加等のため、評価の一部を修正、追加した。
9. 環境保全のための措置	採石事業計画、公害防止対策及び緑化復元、既事業区域の緑化復元、緑化の維持管理等の環境保全のための措置	環境保全を考慮した採石事業計画、沈殿地の維持管理、植栽方法、緑化の維持管理等を修正、追加した。